



虹の里 2025年3月 第246号

発行所 ナルクびわこ湖西 発行責任者 田川鴻平 編集責任者 池本盛雄
〒520-0522 滋賀県大津市和邇中浜 432 平和堂和邇店 2F
TEL・FAX 077-594-0838
Mail to: nalc-kosei.5940838@nifty.com
URL <http://nalc-kosei.o.oo7.jp/>



活動の基本

○ナルクの理念 (自立・奉仕・助け合い・生きがい) を、明るく、元気で、楽しみながら実現しよう

活動の目標

○時間預託50%、無料奉仕活動30%、仲間同士の友好・交流20%の活動比率をめざして

春です！

桜満開の和邇公園へ出かけませんか

拠点恒例のお花見会。今年は初めて、下記の通り、和邇公園で開きます。

JR 和邇駅から西 (山手側) へ1 km。徒歩で15分ほどの和邇川のほとり

(中井医院の近く) に公園とグラウンドがあります。

桜を見ながら広い公園を散策したり、グラウンドでボッチャやグラウンドゴルフを楽しみたいと思っています。

昼食は、おにぎり他を用意しますが、お茶は各自持参してください。久々に皆さんの笑顔に会える日を楽しみにしています。

記

日時：3月31日 (月) 11時から

場所：和邇公園 (現地集合)

会費：500円 (当日集金)

申込み：3月23日までに運営委員へ

※駐車場有り



※雨天中止※場所が分からない方、JR 和邇駅から公園までの送迎を希望される方は、運営委員に連絡して

3月号 トピックス

◆時間預託活動 ☆22点(6人) ☆事務所当番17時間(7人)

◆福祉活動 ☆20時間(10人) ☆拠点活動59時間(34人)

◆環境活動 ☆0時間

◆健康体操：3月26日(水) 14:00～

4月23日(水) 14:00～水筒をご持参下さい。

◆ブロック・ミーティングは参加者が少なくなり、「一休」と「まんだら」が合同で開催することにしました。

◆2月13日(木)西川さん、柿平さんの2名が新入会員説明会に参加されました。

◆ポッチャの体験会には、沢山の会員の参加をお願いしたい。

◆幹事会・運営委員会は合同で3月24日(月)開催します。

ください

会員の動き

会員状況2月度(2025年2月17日時点)

入会：当月入会はありません。

退会：加藤泰治さん逝去 南部B(三井G)退会

| | 2024年3月末 | 当月(2月) | 前年度末差 |
|--------|----------|--------|-------|
| 会員世帯数 | 122 | 108 | -14 |
| 会員数(名) | 182 | 158 | -24 |

eco クラブ 花

住んでいる町に恩返し
奉仕活動と一緒に楽しみませんか？

【次回の奉仕活動】

3月21日(金) 10時~11時頃

雨天時は3月28日に延期

集合：和邇公園（トイレ前）

和邇公園東側の交差点をスタートし、西へ道路脇のごみを拾いながら歩きます。そして和邇公園の中を歩いて戻る約1時間のごみ拾いです。

持ち物：軍手・飲み物

泉 090-XXXX-YYYY



和邇公園の中を流れる小川です。夏には子どもたちが水遊びをしますが、冬は公園に来る人もまばらです。

二日前に積もった雪は随分解けましたが、葉っぱが川底に溜まっていました。

活動に協力していただける方
はご連絡下さい。
エコクラブ花 LINE ⇒



■■■■認知症カフェ「ひだまり」だより■■■■

2月度は会場の都合により中止しました。

<3月の予定>

- 開催日時：3月14日（金）13：30～15：30
- 場 所：和邇コミュニティセンター第4：第5会議室
- 内 容：軽体操、出前講座、歌声喫茶、カフェタイム
都合により内容は変更する場合があります
- 参加費：一人 200円（ボランティア保険等）
- 主 催：ナルクびわこ湖西（大津市「認知症カフェ」委託事業）



《スタッフ、スタッフ協力員を募集》

現在のスタッフも高齢化により、毎回参加することが難しくなり、「ひだまり」の活動を新年度4月から維持していくのが危ぶまれています。都合がつく時にお手伝いいただければと思います。難しい作業ではありません。一度見学に来ていただき、ご協力の程よろしく願いいたします。

(田川鴻平)



3月、4月の出納日

| | | | | |
|-----|----------|----------|-------------|--------|
| 出納日 | 3月24日(月) | 4月1日(火) | 10:00~12:00 | ナルク事務所 |
| | — | 4月28日(月) | 12:00~12:00 | ナルク事務所 |
| | — | 4月29日(火) | 10:00~12:00 | ナルク事務所 |

会議・集会のお知らせ



| | | | | |
|--------------|-----------|--------|-------------|--------------|
| ☆ 三月 ☆ | 地区別月例会 | — | — | 日時は各地区の自主判断 |
| | 健康体操 | 26日(水) | 14:00~15:30 | 和邇コミュニティセンター |
| | 新入会員説明会 | 13日(木) | 10:00~12:00 | ナルク事務所 |
| | カフェひだまり | 14日(金) | 13:30~15:30 | 和邇コミュニティセンター |
| | 幹事会・運営委員会 | 24日(月) | 10:00~12:00 | ナルク事務所 |
| ☆ 四月 ☆ | 地区別月例会 | — | — | 日時は各地区の自主判断 |
| | 健康体操 | 23日(水) | 14:00~15:30 | 和邇コミュニティセンター |
| | 新入会員説明会 | 10日(木) | 10:00~12:00 | ナルク事務所 |
| | カフェひだまり | 11日(金) | 13:30~15:30 | 和邇コミュニティセンター |
| | 幹事会・運営委員会 | 28日(月) | 10:00~12:00 | ナルク事務所 |

皆さん ボッチャを楽しみませんか!!

日に日に春の陽ざしを感じるようになりました。少しずつ軽い運動をして体力・気力を取り戻しましょう。新しいこと・楽しいことは、認知症の予防になります。毎回2時間ですが、体と頭を使いドキドキ・ハラハラしながら一投ずつ集中してのスポーツです。最後には皆でお茶を飲みながら楽しい時間を過ごしています。是非一度体験に来てください。

開催予定日

| 3月 | 4月 | 時間 | 会場 |
|--------|--------|---------------|---------------|
| 4日(火) | 1日(火) | 13時~15時 | 和邇コミュニティーセンター |
| 13日(木) | 10日(木) | 13時30分~15時30分 | 真野北支所 |

(田村 美津子)

同好会日程表(3月・4月)



| 同好会の名称 | 開催日時・場所 | | | 講師・世話役 |
|--------------------|---|-------------------------|---|--------------------|
| | 3月 | 会場 | 4月 | |
| 絵画教室 | 4日(火) 13:30～ | ナルク事務所 | 1日(火) 13:30～ | 刈 谷 拓 爾 |
| 食いしん坊 クラブ | 19日(水) 未定 | 真野北公民館 | 16日(水) 山菜天ぷら 手打ちそば | 田 川 鴻 平 |
| 健康麻雀 | 3日・10日・17日 24日(月) 13:00～ | 真野北公民館 | 7日・14日・21日 28日(月) 13:00～ | 田 中 竹 志 |
| 虹の里 句会 | 休会 | — | 未定 | 青 野 邦 彦 |
| ふらっとサロン | 13日(木)ポッチャ 体験 27日(木) 13:30～15:30 | 真野北公民館 | 10日(木)ポッチャ 体験 24日(木) 13:30～15:30 | 清 水 俊 雄 |
| パソコン・ スマホクラブ | 12日・26日(水) 10:00～12:00 | ナルク事務所 | 9日・23日(水) 10:00～12:00 | 萩 村 充 宏 |
| 健康体操と ピンポン | 6日・13日・20日・ 27日(木) 13:00～ | 伊香立環境 交流館2階 | 3日・10日・17日・ 24日(木) 13:00～ | 泉 多 郁 夫 田 早 苗 |
| フォト&ウォー キング・クラブ | 26日(水) 9時45分 近江舞子駅集合 | 比良八講(第70 回)の行事 参観 | 未定 | 内 田 晴 己 |
| ぶら歩き | 休会 | — | 未定 | 渡 辺 秀 雄 上 田 忍 子 |
| 古代近江を 学ぼう会 | 13日(木) 14:00～ | ナルク事務所 | 10日(木)13:00 JR 高月駅北口集 合。安満遺跡・今 城塚古墳を見学 | 池 本 盛 雄 |

《虹の里句会》令和七年二月紙上例会

季題Ⅱ自由

冴え返る城址より比良遠望す

八木 賀壽

〔評〕八幡山の城址よりと作者の添え書きがある。空気感のある情景が見えます。季語は冴え返る。

冬ざれの灯油訪販拡声器

青野あくね

〔評〕灯油訪販拡声器と言う、たった一個の題材ですが、そこにイメージや物語が発生する句になりました。季語は冬ざれ。

冴返る星の煌めく帰り道

青野 智翠

〔評〕季語、冬の空、作者の行動がさりげなく語られ、力みのない描写句になりました。季語は冴返る。

《選者吟》

廃線の錆びより冬の虹立ちぬ

坂本美智子

虹 「解体新書」出版のきっかけ

明和8年（1771）3月4日朝、江戸の浅草山谷^{さんざう}の茶屋で、豊前中津藩医で蘭学者の前野良沢^{りょうたく}（1723～1803）らと落ち合った杉田玄白（1733～1817）は、良沢が懐から取り出して見せたオランダ本を見て驚いた。「ターヘル・アナトミア」（解剖図録）というその人体解剖の本は玄白も入手したばかりだった。玄白は近江源氏の出で、先祖は初め間宮と称していたが、武蔵国久良岐郡杉田に移り、杉田と改姓。父の甫仙は若狭国の酒井侯に仕えた名医だった。

そして同日、2人は千住の骨（こつ）ヶ原（小塚原）の刑場で、90歳の非人婦囚によって始められた腑分け（解剖）を、オランダ本と見比べながら見学した。その帰途、若狭侯の侍医で蘭学者の、中川淳庵（1739～1786）を加えた3人は「僕たちは医者のかせに、人の体のことも正しく知らず恥かしい。何とか力を合わせて、この本を翻訳しよう」と語りあった。

この日の見分をきっかけに3人は同書の翻訳作業を開始。そして、安永3年（1774）秋、ついに「解体新書」の出版にこぎつけ、朝廷、幕府、九条、近衛、広橋の諸家に献じ、世人にオランダ医学の真相を提示した。安永3年にはNHKの大河ドラマ「べらんめえ」の主人公、蔦屋重三郎（1750～1797）が版元として最初の出版物「一目千本」（遊女評判記）を耕書堂から刊行している。（池本）

賛助会員として、糖尿病クリニック堅田殿の登録を頂いております。